

OS交配

●ハウス● 9月～3月播き ◎越冬・促成・半促成・無加温

キュウリ

かっぱん
強し

極光 607

品種登録

第22619号

褐斑病に極めて強いツヤ系品種



褐斑病に極めて強く、果実の肥大性に優れ、秀品多収

枝の発生の具合、性質はハイグリーン的



株式
会社

埼玉原種育成会

OS
交配

極光 607

特性と栽培のポイント

特性

褐斑病には極めて強い耐性を持ち、防除の労力を軽減できる。初期から力強い生育をし、春の強光・乾燥条件下でも茎葉の生長が旺盛であるため摘芯作業が単純化できる草勢維持しやすい。(枝の発生の仕方、性質はハイグリーンの)

適作型	ハウス:9月~3月播き 越冬・促成・半促成・無加温
雌花率	・主枝:60%~70% (11月~3月播きの場合) ・側枝以降:80% 1節 1果成り主体
収量	果実肥大早く、長期に亘り安定した草勢を保つため、秀品多収となる。
草姿・草勢	短日・弱光・低温時期から、春の強光・乾燥まで終始、力強く若々しい草勢を保つ。長期に亘ってスタミナが維持される。葉は、濃緑で厚く、老化し難い。
果実	100gで20~21cm。首から尻までよく整い尻コケ・尻太果が極少なく安定する。極濃緑色で光沢良好。トゲは中位。歯切れ良く食感良好。
耐病性	特に褐斑病に対して強い耐性を持つ。

栽培のポイント 摘芯栽培として短側枝にならない限り、摘み続ける。過繁茂にしない。

育苗

- ・鉢育苗ではリン酸を含む腐植の多い良質床土を準備する。定植時に鉢土が崩れない程度の育苗日数をとる。
- ・最適台木は、OS交配ゆうゆう輝黒タイプ・オールスター輝・FGYが、ブルーム台木では、ウルトラ南瓜・ウルトラG南瓜が良く、高い生産力を発揮させる。

定植

- ・枝の動きが良いため、あまり密植しない事。3.3㎡あたりなら4~4.5株程度。
- ・活着を早めて旺盛な草勢にする。

施肥

- ・元肥は、量や質を一般に準じて良い。バランスの良い肥効が、その後の草勢や品質・収量に影響するので、必ず施用前には土壤検定による施肥設計を行うと良い。
- ・追肥は、新葉の色や果形を見ながら行うが肥料の吸収が良いので、1回の量を多くしない。10aあたりN成分で1kg位を7~10日おきに施用すると良い。

灌水

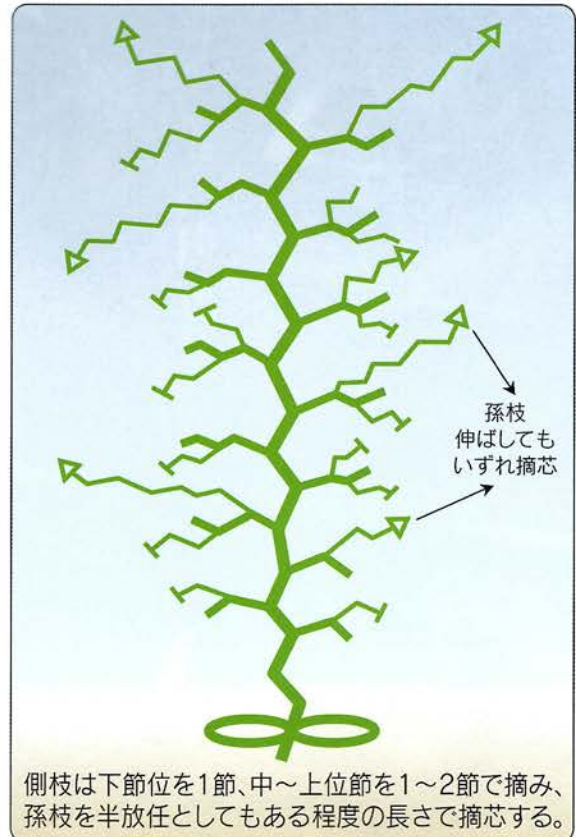
- ・定植2~3日前に十分灌水しておき、定植当日に土中水分の過不足がないように準備する。各作型とも旺盛に生育できるように活着後も水を余り切らさず、順調に側枝が発生し葉の展開がスムーズにいくように適宜灌水していく。

摘葉

- ・収穫最盛期を過ぎる頃から、古い日陰葉や込み過ぎた部位を一回あたり2~3枚を限度として摘葉すると良いが、常に全体に亘り収穫果が見え隠れする程度に整える。

整枝法

- ・早播き(9月~11月播き)では側枝1節止めとする。
- ・孫枝は、草勢維持のため一時的に伸ばしても、いずれ摘芯する



きゅうり・かぼちゃ・メロン 育成元
株式会社 **埼玉原種育成会**
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀2616
TEL.0480(85)0854(代) FAX.0480(85)0407



OS交配種子 発売元
株式会社 **シード**
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀2616
TEL.0480(85)7211(代) FAX.0480(85)0407